放課後等デイサービス　自己評価表　　【かなやの里療護園　職員用】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 改善目標、工夫している点等 |
| **環境・体制整備** | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | 4 | 0 | ・改善予定。快適に過ごせるように環境整備を行いたい |
| ② | 職員の配置数は適切であるか | 6 | 2 | 1 | ・運営上は適正だが、日によっては足りないと感じる日がある |
| ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 5 | 4 | 0 | ・洗面所の造りや出入り口のサイズや便座の高さなど児童に合っていない箇所がある |
| **業務改善** | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか　　　　　　　　　　　　　　　　　※１ | 6 | 2 | 1 | ・月に１度の放デイ会議と必要に応じてモニタリング会議を行った。今後も会議に参加できない職員には会議録を確認してもらい、共通理解を図っていく |
| ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 9 | 0 | 0 | ・アンケートで頂いた意見を参考にさせてもらっている・頂いたアンケートが励みになっている。また、気を引き締める機会にもなっており、業務改善につながっている |
| ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の広報やホームページ等で公開しているか | 8 | 0 | 1 | ・実施予定 |
| ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 3 | 2 | 2 | 無回答２・実施予定あったが、コロナ禍の為、延期になった。機会があれば受けたい |
| ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 6 | 2 | 1 | ・研修係と協力し、研修の機会を確保している・個別の障害に特化した研修やペアトレを受けたい・コロナ禍で難しいが、他施設への見学を行い、参考にしたい |
| **適切な支援の提供** | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※２、３ | 8 | 1 | 0 |  |
| ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※４ | 7 | 2 | 0 | ・使用している |
| ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 8 | 1 | 0 | ・様々な職員がプログラムの立案をすることで、固定化しないようにしている・研修（遊びに関する事など）を受けて、活動を充実させたい |
| ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 7 | 1 | 1 | ・上記同様 |
| ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 8 | 1 | 0 | ・時間の関係で放課後ではできないようなことを中心に長期休暇時や休日に取り組むようにしている |
| ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 8 | 1 | 0 | ・重度の方が多く、集団での活動が難しい・音楽活動など重度の方でもみんなと一緒に取り組めるような活動を提案していく |
| ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | 3 | 0 | ・メインで入る職員間で確認している |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか | 6 | 2 | 1 | ・勤務の関係で全員が残れるわけではないので、特記があれば全体の申し送りノートに記載するように心がけた |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 8 | 1 | 0 | ・記録について職員によって差がある |
| ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 8 | 1 | 0 | ・最低でも６ヶ月に１度モニタリングを行い、計画の見直しを行っている |
| ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか　　　　※５ | 6 | 3 | 0 |  |
| **関係機関や保護者との連携** | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか　　　　　※６ | 9 | 0 | 0 |  |
|  | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 9 | 0 | 0 |  |
|  | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 7 | 2 | 0 | ・必要に応じて行っている |
|  | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか※７ | 5 | 3 | 1 | ・今年度は対象者がいなかったが、必要があれば行いたい |
|  | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 7 | 2 | 0 | ・今年度はそのまま同事業所内の生活介護に移行する卒業生が多数いるので、スムーズに移行できるよう情報提供等を行い、協力したい。 |
|  | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 4 | 3 | 2 | ・機会があれば受けてみたい |
|  | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 0 | 2 | 7 | ・コロナ禍もあり、交流する機会がない |
|  | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 0 | 5 | 4 | ・コロナ禍もあり、交流する機会がない |
|  | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 9 | 0 | 0 | ・お迎えの際に利用中の様子を伝え、保護者からも様子を伺うことができた・コロナ禍もあり、活動の様子を実際に見て頂くことが難しいため、より詳細に利用中の様子を伝えていくようにする |
|  | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか | 2 | 5 | 2 | ・コロナ禍で実施が難しい・研修があれば受けてみたい |
| **保護者への説明責任等** |  | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 9 | 0 | 0 | ・契約の際に行っている |
|  | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | 3 | 0 | ・必要に応じて行っている・困難なケースでは相談員とも連携しながら対応していく |
|  | 保護者同士の連携を支援しているか | 0 | 8 | 1 | ・ほとんどの利用者が同一の学校からの利用であり、学校での保護者会等がある為、交流が図られていると思われる |
|  | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 | 1 | 0 | ・その都度対応を行った |
|  | 定期的に広報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 9 | 0 | 0 | ・年３回の広報誌の発行、HPの更新を行った・広報誌等を通じて活動の様子をより詳細に見て頂けるように発信していく |
|  | 個人情報に十分注意しているか | 9 | 0 | 0 | ・個人情報使用同意書に則り、取り扱いに注意している。今後も注意してく |
|  | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 9 | 0 | 0 | ・言葉や文字だけでは伝わらない児童には写真等を用いて意思の疎通が図れるようにした・ひとりひとりに合わせた伝達方法を実施していく |
|  | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 5 | 3 | ・コロナ禍のため難しい・ホームページなどで活動紹介を行っていきたい |
| **日常時等の対応** |  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 8 | 1 | 0 | ・コロナ禍で感染症対策について、その都度お知らせを発行していた、改正が多い為か周知しきれない部分もあった・どのマニュアルにおいても簡潔に説明できるといい。 |
|  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 9 | 0 | 0 | ・月に一度訓練を実施しているが、休みなどで訓練に参加できない利用者もいる為、確認しながら行っていきたい・必要物品や環境の整備などの見直しを行っていく |
|  | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 6 | 2 | 1 | ・虐待防止委員会が設置され、虐待や身体拘束等について検討している。今後もアンケートや研修などを行って、虐待防止に努めていきたい |
|  | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 8 | 1 | 0 | ・組織的な取り組みが希薄な為、次年度は虐待防止委員会を中心として、指針の見直しを行っていく |
|  | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 6 | 1 | 2 | ・対象の児童がいない・必要に応じて行っていく |
|  | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 6 | 2 | 1 | ・一部のみで共有している・事業所全体で共有できるように、事例集を各所に置くようにする |